

令和3年度 介護職員等訪問指導研修メニュー一覧表

	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
①	利用者の能力を引き出す 移動・移乗 (講師:理学療法士) ※オンライン開催	ボディメカニクスの原理を学び、双方が安全・安心・安楽な移動・移乗動作を身に付けることができる 軽介助～中等度の介助の方を対象としています。軽介助で立ちあがり困難な対象者の方に対するの介助方法についてはテーマ⑧をおすすめします。	① 利用者の能力を引き出すことへの理解 ② 介護を行う姿勢の注意点 ③ 能力を引き出す介助(寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗・歩行)のポイント
②	褥瘡・拘縮予防と ポジショニング (講師:理学療法士) ※オンライン開催	安全・安楽の観点から座る姿勢、寝るを評価して、現状維持から改善に役立つようポジショニングの援助技術を身に付ける	① 姿勢の介助の目的と効果 ② 人の身体構造・機能の知識 ③ 悪い姿勢、正しい姿勢の理解とアセスメント(臥位・座位) ④ 姿勢の評価(グローブ使用) ⑤ 圧抜き、圧分散、座り直し ⑥ ポジショニング
③	自立支援をめざした 福祉用具の選定と活用 (講師:作業療法士)	適切な福祉用具の選定・住まいの環境整備の方法を理解することで、生活場面に合わせた自立を支援することができる 生活に便利な福祉用具を探している事業所におすすめです。	① 日常生活動作の基本知識 ② 福祉用具の基礎知識 ③ 疾患別の特徴と場面に応じた福祉用具の活用方法 ④ 自立支援を目指した福祉用具の選定とフィッティング ⑤ 身体機能、ADL面のアセスメント
④	自立を意識した 着替え・入浴介助 (講師:介護福祉士)	保清に関する基本を学ぶことで、自立を意識した安全で快適な清潔を維持するための技術を身に付けることができる	① 清潔の目的と効果 ② 自己決定(意思確認、同意、言葉かけ) ③ 基本的な更衣・入浴の介助
⑤	排泄ケアと 関連用具の選定 (講師:介護福祉士)	排泄に関連する用具の適切な選定方法および知識・技術を修得することで、個々の状況に合わせた排泄ケアができる	① 排泄に関する基礎知識 ② 排泄ケアのためのアセスメント ③ 排泄のメカニズムと失禁のタイプ ④ 排泄関連用具の種類と選定、使い方 ⑤ オムツの適切な使い方
⑥	摂食嚥下障害者のケアと 食事介助 (講師:言語聴覚士) ※オンライン開催	摂食、嚥下のメカニズムを学ぶことで、利用者の状態の観察・把握ができ、安全な食事環境を提供することができる	① 口から食べることの重要性 ② 摂食嚥下のメカニズム ③ 摂食嚥下障害の原因と症状 ④ 食事のアセスメント ⑤ 食事介助のポイント ⑥ リスク管理
⑦	口腔ケアと介護予防 (講師:歯科衛生士)	適切な口腔ケアを学び、口腔機能、口腔衛生への問題意識を持って介護に繋げる	① 口腔ケアとは ② 口腔のメカニズム ③ 口腔内の観察のポイント ④ 口腔ケアの種類と方法 ⑤ 口腔機能向上 ⑥ 歯磨きの方法
⑧	福祉用具を使った 移動移乗の介助方法 (講師:理学療法士) ※オンライン開催	腰痛予防に関する社会動向を踏まえ、移動・移乗関連の用具、福祉用具の活用方法を学ぶことで、腰痛予防に配慮したプランニング能力を身に付けることができる。 (対象は介助なしでは立てない方～全介助の方) 中等度～重度介助の方を対象としています。今後の重度化を想定して、福祉用具(シート・ボード等)を使用した介護のメリット・デメリットを知りたいという事業所におすすめです。	① 移乗に関するプランニングの基礎知識 ② 持ち上げない介護技術とは ③ ベッドを活用した介助技術 ④ スライディングシートを活用した移乗技術 ⑤ トランスファーボードを活用した移乗技術 ⑥ リフトを活用した移乗技術
⑨	個浴での入浴介助方法 (講師:作業療法士)	身体機能および入浴環境を理解し、安全・安楽・安心な入浴介助の知識・技術を修得する 個浴室の環境整備について学びます。小規模多機能型、グループホームにおすすめです。	① 身体機能に応じた入浴動作 ② 身体機能に応じた入浴環境 ③ 安全・安心な入浴介助の技術を修得する(介護チェックの方法、記録評価) ④ 入浴関連用具の機能の選定のポイント ⑤ 浴室、浴槽での各動作 ⑥ 疾患別動作 ⑦ 入浴動作時のリスク